

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
木村 直人			
月3、金2、金3			
添付ファイル			

科目の概要	小学校の図画工作科の内容と指導法について具体的な例に即しながら考え、主体的な授業づくりができる基礎・基本を学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 全体ガイダンス (・自己紹介の絵 ・人物クロッキーの技法)</p> <p>第2回 絵画① (見て描く絵) 「超メガネで見てみたら」</p> <p>第3回 絵画② (水彩絵の具の使い方①) 「楽しい海の中」 (淡彩の味わい)</p> <p>第4回 絵画③ (水彩絵の具の使い方②) 「不思議なチョウ」 (輪郭線と色鉛筆)</p> <p>第5回 絵画④ (水彩絵の具の使い方③) 「不思議なチョウ」 (水彩絵の具での着色)</p> <p>第6回 デザイン (カッターナイフの使い方) 「リングのデザイン」 (色と形の構成)</p> <p>第7回 絵画⑤ (パステルの使い方①) 「ステンシルで描く海のメルヘン」</p> <p>第8回 絵画⑥ (パステルの使い方②) 「アートの壺」</p> <p>第9回 モダンテクニックを使って 「ドリッピング」「スパッタリング」「マーブリング」「にじみたらし込み」等</p> <p>第10回 切り絵① 「海の中の影」 (輪郭線と切り取り)</p> <p>第11回 切り絵② 「海の中の影」 (切り取りと台紙に貼り付け)</p> <p>第12回 立体① (軽量粘土を使った造形) 「大好きなお弁当」 (形作り)</p> <p>第13回 立体② (軽量粘土を使った造形) 「大好きなお弁当」 (着色とニス塗り)</p> <p>第14回 写真を利用した作品 (写真で作品に“命”を吹き込む) 「ペーパーアニマルの冒険」</p> <p>第15回 総括レポートの作成 (今までの授業の振り返りと、返却作品の鑑賞会等)</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校図画工作科の授業を指導するための基礎・基本となる知識と授業構成力を身につける。 ・図画工作科に対する興味・関心を高めることで、授業を主体的につくり上げる意欲を持つ。 ・図画工作科の評価の考え方を理解し、図画工作科の授業を通して、子どもの自己肯定感・自尊感情を育てていく意識を持つ。
授業の方法	主に参加型を加味した講義。簡単な実習とグループワークやグループ発表も取り入れる。
成績評価の方法	課題作品：70%、制作に臨む態度：30%
教科書・テキスト	適時プリントを配布する
参考書	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領 その他、授業内容に合わせて適宜紹介する。
授業時間外の学修について (事前・事後学習について)	授業時間内に課題が終わらない場合、担当教師と相談の上、別途時間をとって制作すること。
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では服を汚すことがあるので、そのことに対応できる服装をする、またはエプロン等をする。 ・指示された準備物は忘れずに持ってくる。 ・片づけ、掃除を含めて授業である。後の人のことを考え責任を果たすこと。
オフィスアワー	質問や相談がある場合は、授業終了後またはE-mailにてその旨を申し出ること。別途時間を設けて対応する。

担当教員への連絡方法	授業終了後に直接連絡方法を聞くか、教務部を通してE-mail等の連絡方法を聞く。
その他	筆記用具の中に、2 B以上の濃い鉛筆と油性サインペン（極細・黒）を必ず入れておくこと。